【別紙２】

◆　令和５年度における市内小・中学校の復興教育・防災教育の実施状況

（教育研究所から提供いただいた資料を一部抜粋し掲載しています。）

学校名	学年	取組テーマ・取組内容
盛小学校		【復興教育スクール（沿岸）の活用】
	1・2年	・高田松原復興祈念公園、陸前高田市立博物館見学。
	3・4年	・東日本大震災津波伝承館、陸前高田市立博物館見学。
	5年	・おおふなぽーと見学・体験。 座学、非常食作り体験、防災パズル体験　等
		【いわての復興教育副読本の活用】
	3～6年	・教育的価値「そなえる」の項目についての理解を深めた。
大船渡小学校		【自然災害を知ろう】
	5年	・復興教育副読本を活用し、自然災害について学んだ。
	全学年	・柏崎正明元校長による東日本大震災当時の講話。
		【大船渡の防災と復興を知ろう】
	5年	・おおふなぽーと見学・体験。 座学、防災パズル体験、避難所生活体験　等
		【避難訓練】
	全学年	・2次避難先の大船渡中学校まで避難し、3次避難として中学校に入り、引き渡しの訓練を行った。
末崎小学校		【まち探検】
	2年	・川沿いに津波記念碑を探し、東日本大震災の津波到達地点であることなどを学んだ。
		【津波について学ぼう】
	3年	・津波避難シミュレーションゲームを通じて、避難や備えについて学んだ。
		【災害に備える】
	4年	・ハザードマップで避難所を確認、3日間生きるために必要なものを調べたり、防災倉庫を見学。
		【変わり続ける大地】
	6年	・住んでいる地域で予想される災害について話し合い、災害から命を守るための備えなどを各自でパワーポイントにまとめ、3.11に発表する。
		【避難訓練】
	全学年	・地震発生後、家庭科室から出火を想定した避難訓練を行った。

学校名	学年	取組テーマ・取組内容
赤崎小学校		【災害を理解する】
	3・4・6年	・三陸鉄道震災学習列車による防災学習。
	4年	・防災管理室による防災講座、防災倉庫の見学により備えについて学んだ。 ・東日本大震災津波伝承館、高田松原津波復興祈念公園見学。
	6年	・pepperを活用した防災教室を行い、津波のメカニズムや津波から命を守る対処法を学んだ。 ・学区内でのフィールドワークの調査結果をもとに、学校周辺の災害危険区域を記した防災マップを作成した。
猪川小学校		【持ち出しリュックを考えよう】
	1年	・災害時、必要なものを持ち出すための「防災リュック」とその中身について考える活動を行った。
		【防災マップを作ろう】
	3年	・「いかわ防災マップ」の作成に取り組み、写真や図表を使いながらまとめ、学習発表会で保護者や地域の方に伝える活動を行った。
		【防災ガイドブックを作ろう】
	6年	・他学年や将来のこどもたちに伝えるため、タブレットを活用して「防災ガイドブック」を作成した。
		【避難訓練】
	全学年	・保護者と協力し、在校中に発生した有事を想定した保護者への引き渡し訓練を実施した。
立根小学校		【水害ハザードマップの見方】
	3年	・土砂災害の種類、川氾濫時の正しい逃げ方、大雨時の安全な場所について学んだ。
		【地震、津波への備え】
	4年	・津波シミュレーションゲームを通じて、適切な避難経路などについて学んだ。
		【命を守るための教訓】
	5年	・東日本大震災津波伝承館見学。
		【震災から復興へ】
	6年	・地震、津波のメカニズムや小学校の被災から復興までの様子を学んだ。
日頃市小学校		【学年別防災学習の実施】
	3年	・自然災害の基礎知識を学習し、家族等への取材を通して、住んでいる地区で起こりうる自然災害を安全マップにまとめた。
	4年	・おおふなぽーと見学・体験。 座学、防災すごろく・防災グッズ体験　等
	5年	・東日本大震災津波伝承館見学。

学校名	学年	取組テーマ・取組内容
大船渡北小学校	2年 4年 5年	【もっとなかよし町たんけん】 ・町探検をしながら津波から避難するための標識を発見したり、避難場所の確認を行った。 【防災力をパワーアップ】 ・学校や家庭の備蓄品など地域や家庭の災害に対する備えを調べ、調査結果を発表し合った。 【守ろう　みんなの未来】 ・東日本大震災津波伝承館見学。
綾里小学校	全学年 全学年 全学年	【津波避難訓練】 ・地震発生と同時に津波の危険があることを想定し、今自分がいる場所からどこへ、どのように避難すべきか日頃から確認し、いざという時の行動につなげるよう、訓練を実施。 【防災避難訓練】 ・火災を想定し、火災発生場所によって避難場所が違うこと、その際の避難経路など、発災の場所や状況に応じて判断し行動できるよう、訓練を実施。 【震災を語り継ぐ】 ・震災を語り継ぐ取組として、毎年3月11日に外部講師による防災学習を主とした「3.11集会」を行っている。
越喜来小学校	全学年 4年 5年	【希望の花集会】 ・震災のことを忘れることなく、復興に携わってきた方々への感謝の気持ちを持ち続けることができるよう、毎年3月11日に「希望の花集会」を行っている。震災について学ぶだけでなく、防災意識を高める内容としている。 【災害に負けない町　越喜来】 ・地区ごとに分かれ、災害時の危険個所などを調べ、防災マップを作成した。 【避難所の食事作り体験】 ・復興支援で毎年送っていただいている、千葉県茂原西小学校の児童が作ったお米を活用して、災害時に役立つポリ袋炊飯を行った。
吉浜小学校	2年 3・4年 5・6年	【避難標識の意味】 ・津波避難標識の意味を理解し、学校での安全な場所や自宅近くの安全な場所を知る機会とした。 【避難シミュレーション】 ・津波ハザードマップを活用した避難シミュレーションを行い、津波が起きたらすぐ逃げる、すぐ避難できるよう事前に避難場所を確認するといった避難行動について学んだ。 【津波伝承】 ・学習発表会において、吉浜の宝、津波の恐ろしさ、命の大切さ、先人の願いなどを伝える劇「よしはまのおゆき」を演じる。

学校名	学年	取組テーマ・取組内容
第一中学校	1年 2年 3年	【いきるかかわるそなえる】 ・復興教育副読本を活用しながら、「かたりつぐトランプ」の絵札をきっかけに具体の21項目から深めたい項目を班ごとに選んで学習を行った。 【避難所運営ゲーム】 ・6人程度のグループで避難所運営ゲーム（HUG）を行い、ゲーム終了後には、避難者の配置方法やイベントの対処方法などについて振り返りを行い、より良い避難所運営のあり方を検討した。 【もし学校が避難所になったら】 ・生徒を運営者と避難者に役割分担し、避難所に見立てた体育館に避難者をどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくか避難所運営の疑似体験を行った。
大船渡中学校	1年 2年 3年	【防災クロスロードゲーム】 ・岩手県地域防災アドバイザーを講師に防災クロスロードゲームによる防災学習を行った。 【土砂災害の危険性】 ・岩手大学地域防災研究センター福留教授を講師に土砂災害に関する講演を行い、土石流発生の仕組みや土砂災害時の避難方法、学区内の被害想定箇所などを学んだ。 【防災マップつくり】 ・岩手県立大学総合対策学部、岩手県教育委員会事務局職員を講師に、学校周辺地図をベースマップとし、防災マップを作成し、避難所や避難経路上の危険個所の確認、避難経路が使えなかった場合の対応などについて学んだ。
末崎中学校	1年 2年 3年	【家族への取材】 ・東日本大震災についての体験を家族など身近な人から取材し、学級全体で共有した。 【語り部から学ぶ】 ・地域の方を講師に東日本大震災当時のまちの様子を学び、復興に携わった方々の思いや苦労に触れる機会になった。 【避難所運営ゲーム】 ・3学期に実施予定。
東朋中学校	1年 3年 全学年	【復興の経過を知る】 ・津波に関する石碑を調べ、過去の津波被害と石碑に記した思いを学んだ。 ・防災学習館を見学し、震災からの復興の過程を学んだ。 【災害時の心構え】 ・東日本大震災津波伝承館、旧気仙中学校を見学し、自然災害に対する知識を深めた。 【自分たちにできる防災】 ・赤崎地区公民館の金野館長を講師に、東日本大震災からこれまでの地域の歩みについて講演を行い、「自分たちにできる防災」と「復興」について考える機会になった。